



ユース版

新たに高校283名、附属中80名が入学 令和7年度スタート



令和7年度入学式は、去る4月5日(土)、八百余名の保護者来賓など参列のもと盛大に挙行された。高校附属中併せて363名に馬場校長先生から入学許可状が交付され、入学生を代表して、高校は桐生幸歩さん(六組)、附属中学は剣持こなつさん(五組)が、個性豊かに力強く宣誓を行った。校長先生の式辞、宣誓文は次のとおり。

馬場正一・校長先生式辞【要旨】

本校の生徒たちは、互いに切磋琢磨しながら勉学、生徒会活動やクラブ活動にも積極的に取り組んでいます。その精神は引き継がれ、本校の学校文化として、しっかりと根付いています。

今日から始まる学校生活は、多くの可能性に満ちています。安心して過ごせる慣れた「コンフォートゾーン」から、新たな環境に不安を感じることもあるかもしれませんが、仲間とともに学び合う中で、今までは意識しなかった自分の力に気づくこともあるはずです。ワクワクする気持ちを大切に、さまざまなことに挑戦してみてください。

【宣誓】(原文のまま)

高校代表 桐生 幸歩さん(千曲市立屋代中出桜のつばみがはる)は、はじめ、この地を春の陽気で包み込むこの良き日に、私たち二百八十三名は、伝統ある屋代高等学校へ入学します。本日は私たちのために、このような盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。新入生を代表して御礼申し上げます。

私たちは、自らの意志に基づき、屋代高等学校の門をくぐりました。そして、高校でやりたかったこと、将来に向けて頑張りたいことへの意欲に胸を膨らませ、新しい

日々をスタートさせようとしています。

勉学や班活動を通じて、理想の実現に向かって努力する中で、時には失敗や責任から逃げたくなるようなことがあるかも知れません。そのような時は、屋代高等学校の諸先輩のように、目の前の壁に立ち向かい、歩みを止めることなく、自分自身が選んだ道を進んでいくことを目指します。

本日より三年間、私たちはそれぞれの目標に向かって、今こそ仲間とともに切磋琢磨し、時には同じ目標に向かって協力しながら、日々精進することを目指します。

新入生を歓迎する



高校1学年主任 森嶋 光

4月5日の土曜日に283名の新入生と休学中の2名を迎え、2025年度の1学年がスタートしました。それぞれが元気よく、屋高生活のスタートを切つて、ぐんぐんと自分自身が仲間と共に伸びていくように、3月の新入生オリエンテーションから、次のように高校生活を充実させるコツを伝授しました。

1つ目は「友達をたくさん作る」ことです。互いに良い人間関係を構築しましょう。クラスで学年で、班活動で、先輩、後輩とたくさんの友達を作りましょう。

2つ目は「先生とよく話す」ことです。先生は、私たちの成長を応援してくれています。わからないことは、先生に積極的に質問しましょう。

3つ目は「自分の目標を定める」ことです。自分の将来の夢や目標を定め、それを達成するために努力しましょう。

4つ目は「自分を磨く」ことです。勉強だけでなく、部活動や課外活動を通じて、自分の能力を磨きましょう。

5つ目は「仲間と協力する」ことです。仲間と協力して、課題を乗り越え、目標を達成しましょう。

附属中学校に入学して 山岳班に入りました

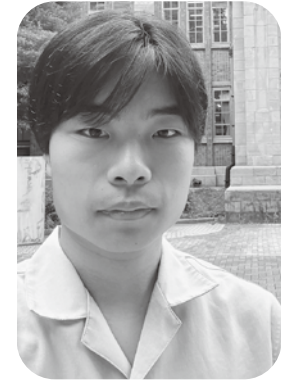


一学年PTA会長 山岸 清子

「自分の健康を大切に管理することです。睡眠時間を適切に確保し、良く運動をし、バランス良く、食べることを。つまり、休息と運動、勉強と食事の規則正しい自分のリズムを大切にすることですと伝授しました。時代は、あなた方を必要としています。テクノロジーが発達、グローバル化が進行し世の中の変化がスピードアップしています。加えて少子高齢化も進み人口も減少局面で一人一人が大切です。是非、あなた方の学びも質とスピードを上げ、時代の最先端に踊り出で、良い方向に世の中を引っ張って行きましょう。偉大な先輩方も学んだ屋代高校で学びを深め、成長し、皆で盛り上げましょう」と激励しておきました。

私の受験時代 (その十四) 第一志望は譲れない ……私の「二刀流仮面浪人」

東京大学理科学部一年 古平 蒼真



こだいらそうま君 川中島小 出、高76回。附属中では卓球部、高校では男子バレーボール部で活躍。千葉大学薬学部に進学され、硬式テニス部、競技麻雀部に所属。今春新たに東京大学理科学部II類に入学する。

高校時代を振り返る

高校二年生になり、クラスメイトも含め学年全体が受験へと向かい始めたのにもかかわらず、その時はまだ二年後のこと……と何も考えずに高校生活を楽しんだ私が、東京大学を受験することを考えたのは、高校三年生になった春のことでした。

高校二年時の東京大学同体験受験で良い判定を取っていた私は、自分の能力を過信してしまっていた。直前に頑張ればなんとかなるかという気持ちのまま、そして、とても東大受験とは思えない勉強量のまま受験当日を迎え、18点差で不合格となりました。……そして、あとも聞かずに、合格したい気持ちでいた……、そして、悔しい思いを強めていた……と悔しい思いを強めていた……と悔しい思いを強めていた……

クロージアアップ

日々テニスコートに立たれる社会科の先生

中村 浩一郎 先生

(写真、後列左)



上高井郡小布施町のお生まれ。中央法大法学部卒業時、銀行に就職が内定していたが、恩師の勧めで教育界に。以降、母校の須坂高校をはじめ、北部高、篠ノ井高においてテニス指導でも卓越されたご手腕を揮われる。屋代高校には平成30年着任以来、男子3回、女子4回の全国大会出場に導く。徳永弦晟君(高75回、筑波大学)ら、大学で活躍している選手も輩出されている。

中学生の部活に「地域移行」の波が押し寄せる中、高校・附属中テニスコートには、連日先生方が指導されています。

来年度から国は「部活の地域への完全移行」を目指すわけですが、生徒にも保護者にも、新たな課題が生じています。夜間練習場への保護者の送迎という課題です。

中村先生のテニス指導で「語り種」になっているのが、松商学園の26連覇を阻止された、須坂高校女子の活躍です。

前任の須坂高校時代、当時の選手たちが松商学園女子の26連覇を止めました。原動力となったのは、前年秋の悔しい敗戦。試合後、選手たちは雨の中に静かに立ち尽くし、心に誓っていました。「悔しい……何が何でも、総体は勝つ」。そして、ついに王者を破って県制覇を達成

したのです。敗戦こそが、生徒の成長を大きく後押ししてくれました。

そのメンバーの中心、キャプテンが先生の娘さん(あや)さん、進学先の慶応大でも体育会テニス部で主将を務め、大学テニスの最高峰「王座決定戦」で全国制覇にあと二歩まで迫る活躍をされました。

自分は大学法学部4年の秋、銀行に就職する予定でしたが、高校恩師の勧めで教職に就きました。退職の近い今、その選択は間違っていないかと思ひます。……、テニスの指導を通して「全力を尽くした」といふ思いを、生徒と共有できたこと、そして、娘が自分の背中を見て育つてくれたのかと。

本校では、本年度の県総体において、男子・女子ともに準決勝で惜敗し、数字だけを見れば悔

しさが残るかもしれませんが、しかし、試合に臨む生徒たちの姿は、成績以上の輝きを放っていました。

その「ドラマ」をお話しいただきますか。

男子の山崎君は、伊那北高校との準々決勝、班長が直前に負傷し、急ぎよ控えの3年生がダブルスに出場。本校のエースとともに堂々の勝利を挙げました。主将は格上の相手エースと互角に戦い、1年生は大逆転で勝利。ベンチでは負傷した班長が声を張り上げ、仲間を鼓舞し続けていました。女子は、主力選手が抜けた苦しいシーズンとなりましたが、伊那北高校との接戦を制して、堂々のベスト4入りを果たしました。私は常に、「負けは顧問の責任、勝ちが選手の手」と伝えています。勝つが、その中でも「本当によく頑張った」と言える内容でした。

迎えるわけですが、我が子の場合、そこには特別な思いがあります。……、というの我が家は毎年のように鳩祭へ遊びに出かけていました。そこで接するお姉さん、お兄さん達のキラキラとした姿は、小さな娘にはいつしか憧れの的となり、あんな中学生、高校生になりたい!という気持ちがあるからです。内外の誰もが楽しめる文化祭。それは一人が知恵を絞り、力を出し合って作るからこそその結果だと思ひます。その結果こそあのキラキラした姿なのではないかと、私に娘、いえ、皆様に体験して頂きたいなと思ひます。

楽しいことばかり書いてしまいましたが、受験の喜びはそろそろ過去のものにしてそろそろ勉強のほうも少しお願ひしますね。それから、みんなの「らしさ」を大切に、学校の生活を送って下さい。保護者PTAとしてもみんなが応援していきます。

夏休み明けから、もう一度東大を目指す

夏休みを迎え、自分の現状とじっくり向き合う時間ができ、このまま進んでいるのは高校時代と何も変わらない。自分は将来何をしたいのだろうか?東京大学でやりたいことがあったのではな

後期受験で千葉大薬学部へ

当時は浪人することを考えていなかったが、後期受験で合格した国立大学の薬学部へ進学しましたが、それでも当初はここで首席をとり東京大学大学院への進学を目指そうという野望がありました。しかし大学が楽しく、硬式テニス部に入ったこともあり、部活や遊びなどに没頭してしまふ大学の試験は夜漬け、という体たらくになってしまいました。

現役時も浪人時とも言えることはただ一つ、早めに対策を立てる傾向をつかみ自分の弱点を知ることです。これは勉強だけでなく、これからの生活においても重要なことだと思います。私にとつて二つの受験は、思い出深い経験となりました。

新任副校長先生に

お聞きする



矢島 裕文 副校長先生

1 着任のご感想について

着任当初に一番印象に残っているのは、伝統ある屋代高校・附属中学校の入学式です。厳肅かつ荘厳な雰囲気、圧迫されました。それと同時にこの脈々と受け継がれてきた校風を、本校の一員として次につないでいく使命を感じました。そのうえで、副校長という立場の重みを実感しています。生徒に対しては職員に対しても進むべき方向を示すことができるよう努めてまいりたいと考えています。

2 これまでどんな学校等にご勤務されましたか

初任は、平成15年の松本市立高綱中↓岡谷東部中↓塩尻中↓信州大学教育学部附属松本中↓長野県

3 先生のご専門分野について教えてください

英語教育学で、信州大学・大学院教育学研究科で英語教育の修士学位を取得、修了後は主に中学校英語科教員として、英語教育に従事してきました。

4 ご趣味についてはいかがですか

柔道は、中、高、大学の部活動として10年間、水泳は、習い事として小学校3年生から4年間、習字・

書道も習い事として小学校2年生から5年間打ち込みました。バスケットボールは、教職に就いてから10年間、部活動顧問として生徒と共に汗を流しました。

5 生徒達への期待について

中学生にとっては、進路実現に向かう高校生の姿を間近に感じることができ、恵まれた環境があると思います。その中で、将来を見据え、自己実現に向けて個々の力を高めてほしいと思います。また、志の高い仲間の中に身を置いて、学習面でも生活面でも大いに切磋琢磨をしてほしいと思います。

6 今後の学校の課題について伺います

生徒の育成については、個々の生徒の内に秘められている才能を、本校の教育活動によっていかに引き出すことができるかが求められていると感じています。また、近年の中学校入学選抜の志願者数が減少傾向にあることを鑑みると、本校の魅力や特色をいかに発信していくかが課題であると感じています。

附属中学校 新担任先生の紹介

- ①これまでの勤務校 ②大学での専門分野
③ご趣味等 ④着任所感 ⑤附属中学生への期待

1年A組

山田 裕也先生

- ①飯田市立高陵中↓屋代高附属中
②英語教育（言語テストイング・リーディングの評価）
③カフエ、温泉
④様々なことに、仲間と協力しながら前向きに取り組める姿がとても素敵だなと思っています。
⑤自分の得意なこと、好きなことをとことん追求し、誰にも負けない武器をつくって欲しいです！一緒に頑張りましょう！

- 1年B組
三上 恭平先生
①豊野高等専修学校↓長野東部中↓櫻ヶ岡中
②工学部生産システム工学科
③スポーツ、お笑い番組鑑賞
高校時代は、硬式テニス、大学時代は硬式テニスとブラジリアン柔術をして

- ④生徒に「質実剛健」の校風がしっかりと染み込んでみ込んでいるなあ。
⑤学力、体力ともに切磋琢磨し、より「質実剛健」の充実を目指してください！

- ①生徒に「質実剛健」の校風がしっかりと染み込んでみ込んでいるなあ。
⑤学力、体力ともに切磋琢磨し、より「質実剛健」の充実を目指してください！

三上先生は、警視庁にご勤務されたことがある、と承りました。警視庁と教職に共通点は何かあります。はい、私は、北海道出身で、警視庁に7年間勤務経験があります。警察と教員の共通することは、どちらの仕事も毎日勉強しなければならぬことだと感じます。教員は授業方法や教材研究で、常にいい授業をする勉強をします。警察も日々「進化する」犯罪や捜査手法について、或いは、新しく制定される法律などの知識の研修が不可欠ですね。

ハンナ先生の懸賞パズル Hannah Lotti



ハンナ先生は、オーストラリア西部Busseltonのご出身、PerthにあるMurdoch Universityで心理学と犯罪学(Criminology)を学ばれ、2018年来日。長崎県で4年間英語を教え、2022年(令和4年)屋代高校に赴任される。「教えることで楽しい日々を送っています。」

The puzzle

An old man lived in a large circular house. He was the envy of everyone in town because he was rich and owned a lot of expensive jewelry. However, people often spoke badly about him because he was so rude. Every day, the old man would yell at local children as they walked past his house, and he would shout at the staff who helped keep his home in order.

One day, the old man came home from shopping and discovered that all his money and jewelry had been stolen. He called the police, who interviewed all the suspects.

The police asked the butler, maid, chef, gardener, and local children what they were doing at the time of the robbery. The butler said he was checking the mail, the chef said he was sharpening the knives, the maid said she was dusting the corners, the gardener said he was digging a hole, and the children said they were having a fashion show.

Who's lying and actually stole the money and jewelry?

【編集室から】

By solving the puzzle by Hannah sensei, the three best answers will be rewarded with a 5,000 yen book voucher. The deadline will be Aug.12. Both Junior and Senior High School students can apply. Please visit the alumni office with your answer (the office hour is from 1.30 p.m. to 5 p.m.), or just throw it into the mailbox.

人

筑波大学社会国際学群
国際総合学類を首席で卒業
北澤 卓也 君



千曲市立東小学校出、高校第72回のご卒業。附属中、高校、大学ともに卓球部に所属、「今でも班活動は大切な思い出の1つです」。令和6年、筑波大学国際総合学類を首席で卒業、卒業式で総代を務める。現在、同大学院ニューロサイエンス学位プログラム博士前期2年に在学され、来春から中学校教員を目指す。趣味は、スポーツ全般、最近には特に「格闘技とオセロにハマっており、オセロは大会に出場したりもしています。」

○「首席で卒業」とは、具体的にどのような成績を修められたのですか

筑波大の成績は、順にA⁺、A、B、C、Dで評定され、Dは不認定です。取得単位数の総計159の内、私の場合A⁺が83単位、Aが68単位、Bが8単位でした。

○50%以上の教科についてA⁺を取得されたのですから、「文句なし」ですね。貴君の「学びに対するポリシー」を教えてください

私は、知らないことを知ることが好きなので、自分とあまり関りが無い分野の話聞くことがとても好きです。大学に入学して、学問を深めることの面白さに気づき、自分の専攻以外

の様々な分野の授業を受講しました。興味、関心を深めたい自分自身の意欲を評価していただくことができ、大変嬉しく思いました。

○高校時代での「一人一研究」では、どんなテーマを扱われましたか

読み聞かせると眠くなってしまうという英語の絵本があるのですが、「おやすみ、ロジャー」、心理学的効果を持った表現が日本語版において、どのように訳されているのか、比較を行いました。

○国際総合学類での卒業論文「日本語圏における英語のディスレクシアに対する指導法の発展可能性」について教えてください

現在取り組まれる「修士論文」について教えてください。日本人が英語を読む能力をどのように獲得しているのか、といったテーマに基づいて、計算論モデルに基づいた認知心理学的手法を用いて、中学生を対象に実験を行い、読みの発達過程

性」について教えてください

大学院の専攻である学習障害に関連していますが、日本人で英語を読むことが困難を示す生徒に対して、どのような指導法が有効かといった点について、英語圏、中国語圏で実施されている指導法を参考に考察しました。

○今後どんな進路をとられる予定ですか

中学校の英語科教員を目指しています。大学院での研究活動を活かしつつ、英語に留まらず、学習全般に困難さがある生徒に対し

編集後記

附属中学校の開校あたり創刊した「ユース版」が第14号を迎えました。お忙しい中、玉稿をお寄せくださいました関係皆様には、心より感謝を申し上げます。

「新担任紹介」の取材については、「鳩が丘新聞」班員皆様にもご協力をいただいて参りましたが、今年は定期考査と鳩祭準備期間が短いため、班員皆様へのご依頼を控えましたが、今後とも連携を継続させていただければ幸いです。附属中・高校を問わず、「鳩が丘新聞」の編集に興味ある方の入班をお待ちしています。(地歴公民科・飯塚和幸先生、英語科・丸山省三先生まで)

